

# 留 学 報 告 書

記入日：2019年3月11日

氏名及び連絡先 E-mail アドレス	氏名：安武 慶亮
留学先国	タイ王国
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) シーナカリンウィロート大学人文学部 (英) Srinakharinwirot University Faculty of Humanity
留学期間	2018年1月～2018年12月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2018年12月17日
明治大学卒業予定年月	2020年3月

留学費用項目	現地通貨 (Bath)	円	備考
授業料	0	0円	協定校留学のため免除
宿舍費	約 8,000×12 =96,000	約 336,400 円	家賃:7,000B+ 水道光熱費
食費	9,000×12 =108,000	378,500 円	年々物価の上昇とともに 食費が上がっています。
図書費	750	2,600 円	教科書 3冊
学用品費	2,000	7,000 円	制服があります。 ネクタイと靴は買わなくても大丈夫でした。
教養娯楽費	107,582	377,000 円	ASEAN 諸国をすべて回りました。 また、国境探索の費用も含まれます。
被服費	2,000	7,000 円	予想以上に買いました。
医療費	0	0円	病院に計5回行きましたが、海外旅行保険に加入していたため、キャッシュレス対応で診てもらえました。
保険費	17,120	60,000 円	明大サポートで加入。 一番下のプラン
渡航旅費	32,110	112,530 円	
雑費	15,000	52,600 円	
その他(通信費)	400×12=4,800	16,820 円	AIS プリペイド

その他（交通費）	17×2×30×12= 12,240	42,890 円	Thailand culture center ⇔ Petchaburi 17B
その他（冒険費用）	2,000×12=24,000	85,000 円	小旅行
合計	421,602	1,476,970 円	

### 渡航関連

渡航経路	往路：HND→BKK 復路：BKK→HND		
渡航費用	チケットの種類 OPEN Ticket (ANA) 往路 復路 合計 JPY 112,530		

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

渡航時、留学終了の日程が定まっていなかった為、購入後復路の日程を何回でも調整できる 12 か月有効のオープンチケットを利用しました。LCC とは違い、荷物のオプション料金と超過料金を気にせず、渡航できることは魅力的でした。ちなみに、全日空・日本航空は、23kg の荷物が 2 つまで無料で預け入れできます。

### 滞在形態関連

種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など

コンドミニウム（アパート）

部屋の形態

個室 OR  相部屋（同居人数： ）

住居を探した方法

前年度留学されていた田中さんに立地条件のアドバイスをいただき、実際に現地に着いてからその近辺で、2 日間で探しました。探す際は、留学先の学生が翻訳として同行してくれたため、非常に見つけやすかったです。

感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

コンドミニウムは、留学する前にシーナカリンウィロート大学の interntional office から、過去の日本人が住んでいた部屋のリストが送られてくる為、それを参考にしつつ、実際に現地で、雰囲気や間取りなどを確かめる方がいいと思います。リストの写真と実際の雰囲気が全然違うところも多々見受けられるからです。私は、最初の三日間だけホテルをとって、その期間内に頑張って探しました。

立地としては、Rama9~Huaikhwang の間に住むと通学・交通面が比較的楽ですし、食事やお買い物などもお店が多くて便利です。

特に私が住んでいた Ratchadapisek soi7,Soi Nathong6 (Blg C Ratchadapisek の裏) は、徒歩 10 分で地下鉄の駅・徒歩 3 分で 24h 営業のショッピングモール (KFC,Burger King,Starbucks 有)、徒歩 1 分で 7-11 に行ける好立地で、家賃も比較的安く、静かなのでおすすめです!!

### 現地情報

現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会がなかった

<p><input checked="" type="checkbox"/> 利用した：バンコク病院（3回）、留学開始時入る保険で、キャッシュレスで対応していただけます。 バンコク・サミティバート・バムンラートの三大病院は、24 時間日本語対応が出来ます。</p>
<p>学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。</p>
<p>シーナカリンウィロート大学の International Office は、困ったことがあるとき気軽に相談できる雰囲気ですごく助かりました。また、学内に明治大学アセアンセンターがあり、そこには日本語ができる先生が常駐しているため、病気になってしまったときや緊急時は、そちらに相談していました。</p>
<p>現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？</p>
<p>在留届をネットで提出すると、在タイ王国日本大使館から月1度メールでバンコク近郊の治安レポートが送られてくるため、それを参考にして、盗難などの防犯対策はしておりました。（2か月に1～2回）大規模なデモが起こるときも、大使館がメールで注意喚起をしてくださったので、その場所にはいかないようにしていました。私は、常に財布をポケットに入れていても盗まれなかったのですが、邦人観光客は月1くらいで被害に遭っていたので、危険があるということを意識することは重要であると思います。</p>
<p>パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？</p>
<p>凄く試行錯誤しました。（AIS の Sim 4 枚と True の Sim 1 枚購入）。初めは、月額 399B で 3GB のプランをプリペイド Sim で使っていましたが、途中から月額 450B 速度 4Mbps のデータ使い放題プランにしました。タイでは、テザリングに別途お金がかからない為、家に WIFI を置くよりもプランをデータ使い放題にし、通信料を気にせず、パソコンもスマートフォンも使えた方が、安く上がるからです。</p> <p>使い放題のプランは、(1Mbps/4Mbps/6Mbps)の3つのプランから選択できますが、使い心地だと 4Mbps が一番コスパが良いのでお勧めします。</p> <p>もし留学中に周辺国に巡る計画があれば、Sim2fly という AIS の SIM を、最初に到着した空港で買っていただくことをお勧めします。この Sim は、タイ国内の AIS プリペイド式のプランと海外の Sim2fly のプランを両方とも 1 枚で使える唯一の SIM であるからです。私は、愛用しておりました。</p> <p>タイの SIM のことに関しては、Google の日本語で調べるとすごく詳しく出てくるので、熟読して（特にプランと Sim のチャージの方法について）行くと損しないと思います。</p>
<p>現地での資金調達はどうに行いましたか？</p>
<p>現地にバンコク銀行の口座を開設して、日本の親から送金してもらいました。出発時に、50 万円持っていき、残りの金額は、送金してもらいました。口座開設には、大学の書類が必要です。大学の Interational Office で相談すると、1 週間以内に口座開設に必要な資料を作ってくれます。また、事務室の職員の方が開設を手伝ってくださるので、意外と簡単にできます。</p> <p>今は、日本の銀行のデビットカード（三井住友銀行か三菱 UFJ）を用いて、現地の ATM で直接日本の口座から現金を引き出すことは可能です。</p> <p>しかし、1 回につき 20,000 バーツ（約 7 万円）しか引きだせず、引きだすたびに日本の銀行の手数料 + 200 B（約 600 円）の手数料負担がかかってしまう為、便利さはありますがお得ではないと思い、私は送金してもらいました。私は、現金が盗まれた時のリスク回避として一応デビットカードも、持って行っていました。</p> <p>クレジットカードは、Visa か Mastercard のブランドを 1 枚持っておくと、地方へ旅行に行くとき便利です。</p>

現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
リセッシュカファブリーズ（タイの日本人向けスーパーにあるが、高い） ゴキブリ退治用の黒いやつ（日本製は強い）
<b>進路について</b>
進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
進路決定の際に参考にした資料，図書，期間など
未定(2018年12月に帰国してからの就活ですが、意外と周りのペースに合わせることは容易でした。)
就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前，あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません）
未定
就職活動中・終了時に関わらず，就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。
学問的なものやそうでないもの問わず、留学志望前・留学中に軸（やりたいこと）を考えて留学をすると、就活に役立つかもしれません。自分らしく留学することを考えるべきだと思います。
進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備，試験対策等）がありましたらお書きください。
その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書きください。



学習についてのレポート	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ、記入してください。
15単位（5科目）	<input checked="" type="checkbox"/> 14 単位（5 科目） <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由： ）
以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスを含めてお書きください。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）	EASTERN CULTURE AND LANGUAGES
履修した授業科目名（日本語）	東アジア文化と言語
科目設置学部	人文学部
履修期間	2017 年 3rd(1 月～5 月)
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Jack Chan
授業内容	古代～中世までの儒教や仏教・道教の考え方と、今の東アジア文化を照らし合わせて学ぶ授業でした。
試験・課題など	毎回アプリを使って課題提出がありました。課題の内容は、テストに直結する内容が少し含まれていました。中間・期末試験有
感想を自由記入	タイの学生の東アジアに対する考え方を見てみたくて、受講しました。毎回の課題は、長文読解を必要とするものであったので、自分の語彙力のなさを痛感させられた授業でした。試験は中間と期末の 2 回ありますが、ひっかけ問題が多く、難易度は少し高かったです。先生は、縄跳びを愛する方でした。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	JAPAN TODAY
履修した授業科目名（日本語）	日本の現状について
科目設置学部	人文学部日本語学科
履修期間	2017 年 3rd(1 月～5 月)
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義、プレゼンテーション
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Napasin Pleaengsorn
授業内容	タイ語で日本のニュース・社会問題について発表をする授業です。授業の最後は、タイ社会との比較についても取り扱いました。
試験・課題など	2 週間～3 週間に 1 度のプレゼン 期末試験

感想を自由記入	日本について学んでいるタイ人学生の日本観について興味があり、受講いたしました。授業の発表で取り扱う内容は、新聞・NHKのニュース・タイ語の教科書と様々であり、日本人である私でも詳しく知らない社会問題に触れることが出来ました。また、タイ人の学生に日本語のニュアンスを教えることの難しさを、身をもって体感できました。とてもいい経験になりました。 先生は、凄くスピーディーにタイ語を話します。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	CULTURAL CONTEMPORARY
履修した授業科目名(日本語)	現代文化
科目設置学部	人文学部フランス語学科
履修期間	2017年3rd(1月~5月)
単位数	3
本学での単位認定状況	3単位認定
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	講義・グループワーク・発表
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	Sakurat Worathumrong
授業内容	世界中の現代文化を様々なジャンルの視点から比較して、その多様さ・違いについて見聞を深めようとする授業です。
試験・課題など	中間テスト・期末テスト 期末テスト前最後の授業でプレゼンテーション 各回授業終わりに120語以上150語以内の感想・課題レポートを提出
感想を自由記入	主に恋愛や会社のマークの違いなどの大衆文化を取り上げて、タイ人ならではの価値観や視点を踏まえて話されていたのが、日本人の私にとって、凄く興味深かったです。 授業終わりの感想レポートは、Writingスキルの無さをすごく実感させられました。ただ、この授業を終えるころには、少し鍛えられた気がしました。タイ人の先生でしたが、アメリカで長年文化の研究をされていたため、発音の完璧な聞き取りやすい英語を話してくださいます。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	ISLAMIC PRINCIPLE AND CULTURE
履修した授業科目名(日本語)	イスラム原理と文化
科目設置学部	人文学部宗教学科
履修期間	2017年3rd(1月~5月)
単位数	聴講
本学での単位認定状況	—
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	講義
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	Puttawit Bunnag

授業内容	仏教徒のタイ人に向けて、イスラム教の教えや考え方・タイに伝来した歴史を踏まえながら教えるという内容でした。
試験・課題など	中間・期末テスト 課題は、タイ語のアラビア専門語の記載があり、全くできませんでした。
感想を自由記入	実は、イスラム教徒も多いタイ王国における、イスラム教の価値観について気になったため受講しました。 シラバスは、英語であったため、油断して行ったら全部タイ語での講義でした。ただ先生が、聴講生の私にやさしく授業後英語で教えてくださった為、少しは理解することが出来ました。 宗教学科の学生は、語学をあまり履修しない為、英語での意思疎通は難しかったのですが、その分自分のタイ語の会話能力とタイ人らしいリアクション力が、向上しました。 人生で初めて、言葉が全く分からない授業を受けました。貴重な経験ができてこの留学で一番、学んだことが多い授業になりました。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	CURRENT ECONOMIC PROBLEMS AND ISSUES
履修した授業科目名（日本語）	現代経済問題と意見
科目設置学部	経済学部
履修期間	2018年1st(8月~12月)
単位数	3
本学での単位認定状況	3単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義・プレゼンテーション
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	Jirawat Jaroensathapornkul/Hlroyuki Konuma
授業内容	国連のSDGsに関連した問題について学びます。タイを含め発展途上国々に関連した地域について主に取り上げます。
試験・課題など	中間テスト・期末テスト プレゼンテーション（1回）
感想を自由記入	就職活動の企業説明会で昨今よく取り上げられるSDGsについて詳しく学べます。初めて、人文学部以外の学部で履修しましたが、経済学部の学生は、情コミの学生に似ていました。タイ人学生の環境問題に対する考え方について深く知ることが出来ました。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	LANGUAGE AND CROSS CULTURE COMMUNICATIONS
履修した授業科目名（日本語）	言語と異文化コミュニケーション
科目設置学部	人文学部
履修期間	2018年1st(8月~12月)
単位数	聴講
本学での単位認定状況	—
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義・グループワーク・小プレゼン（5回）

授業時間数	1週間に120分が2回
担当教員	Daniela Zanini-Freitag
授業内容	ヨーロッパ人視点からの異文化コミュニケーションと異文化理解について。
試験・課題など	中間テスト・期末テスト プレゼンのための事前課題【5回】
感想を自由記入	先生が、オーストリア人でした。日本で受けた異文化コミュニケーションの授業と、同じ分野なはずなのに、先生のバックグラウンドが違くと取り上げる文化の内容や重点を置く文化の違いなど、ほとんど違う内容になるということに気づかされた授業でした。欧州人のアメリカやアジアに対する考え方について学ぶことが出来ました。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	LANGUAGE FOR CROSS CULTURAL COMMUNICATION
履修した授業科目名（日本語）	異文化コミュニケーションのための言語
科目設置学部	人文学部ドイツ語学科
履修期間	2018年1st(8月~12月)
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	グループワーク・講義・プレゼンテーション
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教員	Sakulrat Worathumrong
授業内容	タイ人+アメリカ文化の視点から、異文化コミュニケーションの注意点や文化に対する基礎知識や違いについて学ぶ。
試験・課題など	中間テスト・期末テスト 感想/課題レポート 期末テスト前プレゼンテーション
感想を自由記入	一番楽しい授業でした。後期は、2つ異文化コミュニケーションに関する授業を履修しましたが、こちらの授業はより実際にコミュニケーションをする上で必要とされる知識について深く学ぶことが出来ました。国ごとのジェスチャーの違いや擬音語・擬声語の違い・恋愛感情の表現の違いなどです。根橋先生の異文化理解・適応に近い内容でしたが、タイ人視点から教えて頂いたので、より理解を深めることが出来ました。興味がある人は、履修をお勧めします。



## 留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関して発生した事項を記入してください。（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2017年 1月～3月	1年後期の必修のタイ語の授業で、文字について詳しく勉強し、今まで蛇にしか見えなかった少し読めるようになって、うれしくなり、もっと勉強したいと思い始める。
4月～7月	同じく、読んでみたい字であったアラビア語を履修する。しかし、難しすぎたため、余計タイ語の愛着を持つようになる。 タイ語をもう少し読めるようになりたいと思い、タイの学部間協定校の説明会に行き、書類の作成を始める。
8月～9月	留学の資金集めについて考える。 タイに駐在されていたOBの方にお話を聞いた。
10月～12月	留学奨学金の申し込みをする。 12月：ビザを取得する。 教員の方や教授に履修科目の単位取得の特例措置を相談。
2018年 1月～3月	1月：3日目で部屋を探し、引っ越し。9日目までに履修を決定しなくてはならず、慌てた。 2月：イスラムのタイ語の授業についていけなくなる。会話やネイティブスピーカーの表現をまねする覚え方にシフトする。
4月～7月	4月：ソンクラーン休み。インドネシアとフィリピンへ 5月：1週目に期末テスト。その後夏休み 6月～8月：タイの国境巡り・バンコクバス開拓
8月～9月	8月：中旬まで夏休み。中国・ベトナム旅行中に食中毒で人生初入院。 後期の履修決定。 明治大学の短期交流プログラムに一部参加
10月～12月	10月：中間テスト 12月：1週目期末テスト終わり。 マレーシアに行き、その後帰国。

## 留学体験記

<p>留学しようと決めた理由</p>	<p>中学生の時 GoogleMap で地図を見ている時に国と国を分ける黒い線に興味を覚えました。それ以来、国境線に興味があり、【その境界線を境目にして本当に国がきっぱり変わるのか・その線は、実際に見ることが出来るのか・地図通りなのか・その線を越えた先の街は、その国の雰囲気になってしまうのか】実際に現地へ赴いて、この目で見てみたかったためです。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>語学力（英語・タイ語）を向上させることは、一番大事であると思い知らされました。英語は、TOEIC など長文を読解する力・聞き取る力も必要ですが、やはり Speaking が、留学では一番大事になってくると思います。海外の大学の授業は、先生が意見を求めてきたりすることも多く、凄く苦労しました。自分の考えを主張するには、特別難しい表現ではなく、多少の間違えは恐れずに話すことが大事だと思うので、慣れるために、日本でも話す機会を自ら作りに行くべきであったと思いました。</p>
<p>この留学先を選んだ理由</p>	<p>タイに留学した理由は、タイの国境に面した周辺国がどの国も民族・宗教・政治体制・通貨・言語の違う国で、国境線を越えた先の街とタイの国境の街の間で、違いがより明確にわかると判断したためです。また、1年生の時に短期プログラムで同じ大学に2週間留学していて、親近感があったことも決め手の一つです。</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>大学は、バンコクのなかでも一番栄えているアソーク駅から15分の場所にあり、まさに都会の中心に立地しています。そのため、学生も流行に敏感な都会っが多いイメージを受けました。日本のAKBグループの姉妹ユニットBNK48の話や、K-popの話・洋画や洋楽の話をする話題が合いです。みんな遊びつつも、まじめに予習や復習もしっかり行っていました。メリハリをつけつつ大学生活を楽しんでいる印象を受けました。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>大学の寮は、地方から来ているタイ人女学生にしか貸し出されていません。そのため、留学生はコンドミニアムを借りて住みます。雰囲気は、実際に暮らしてみないとわからないので、何件か見て回って自分に最適な場所を見つけた方がいいとおもいます。私の寮は、夜勤のセキュリティーのおじさんがとてもフレンドリーな方で、よく夜に帰宅すると、ロビーでタイ語を教えてもらっていました。</p>
<p>交友関係</p>	<p>双方の言葉でのコミュニケーションが不自由でも、共通の話題（洋画やアニメ・アイドル）の写真や音楽・YOUTUBEを見せ合うことで友達になれたりしました。それ以外にも、料理の辛さをタイ語で聞いてみたり、タイのCMの曲を覚えて歌ったりしました。タイの学生は優しいので、留学生だとわかるとタイ語がわからなくても、優しく接してくれます。正直に内向的な私でも、凄く仲良くしてくれました。言語面が心配な方でも、絶対友達が作れると思います。</p>

<p>学習内容・勉強について</p>	<p>タイ人の多文化理解・価値観について日本の学生との違いを比較してみたかった為、ほとんどタイ語以外文化系の授業を履修いたしました。タイの授業は、日本とは違い、先生が講義している最中でも、分からない所があればすぐに質問することが出来る生徒積極参加型の授業でした。逆に、先生が生徒に意見を求めることも多く、話すことが苦手な私はすごく苦労しました。</p> <p>また、授業時間が1コマ180分なので、集中するペース配分も重要であると思います。慣れるまでに1ヶ月かかりました。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>課題は、膨大ではないものの、考えさせるものが多い印象を受けました。課題の内容は、比較的試験に直結する内容が多く、まじめに取り組んだ方がいいと思いました。</p> <p>試験は、中間(3月/10月)・期末テスト(5月/12月)の二回を行う授業がほとんどです。授業によって異なりますが、暗記をすれば、点数がとれるテストも多く見受けられました。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>よりバンコクの庶民的感覚に近い生活の勘を知ろうと思いました。そこで、バンコク都内のタイ語が分からないと乗れないバス路線(1番~555番)だけに乗って、有名な観光地やショッピングセンターに速さと運賃の効率性を考えて行くということをやっとやっていました。おかげさまで、帰る直前には、タイ人学生よりもバス路線に詳しくなっていて、逆に最適な公共機関を教えるほどになりました。他にも、商業施設のポイントカードを7枚作り比較を行っていたりしました。</p> <p>また、留学中にASEAN全10か国を旅しました。</p> <p>もちろん、国境にも7か所訪れました。</p>
<p>ある平日のスケジュール</p>	<p>7時:起床, 8時半~11時半:授業, 11時半~12時:昼食, 13~15時:復習, 15~20時:未知なバス路線開拓・商業施設巡り 20~21時:夕食, 22~23時:帰宅, 0時:就寝</p>
<p>ある休日のスケジュール</p>	<p>9時:起床, 10時:洗濯, 10時半:朝食, 11時:部屋の掃除・ごみ捨て 12時:昼食・バス路線調べ 13時~22時:バス停からバス旅・夕食(未知のバンコクを開拓) 23時:夜食(屋台) 0時:帰宅・就寝</p>
<p>留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと</p>	<p>留学を漠然としたいなとだけ思っている方は、軸をもって留学するべきだと思います。なぜ、留学をしたいのかということを探っていきとおのずと軸の答えが明確になると思います。留学の動機は大したことではなくても、自分が本気でやり遂げたいと思うのであれば、その軸は留学中でも揺るがないと思います。</p> <p>留学に行くか迷っている方は、ほとんど1度きりの大学生活をこの先どのようにしていきたいのか、少し考えてみたらいいのではないかと思います。自分らしい大学生活を過ごすうえで、留学に挑戦してみたいと思ったら、その理由を考えトライしてみるべきです。</p> <p>あと、1年留学する方で、5回以上タイの周辺国へ行く予定の方は、EDビザのSINGLEではなく、Multipleをお勧めします。そちらのほうが安く上がります。留学に悩まれていたら、相談にも乗るのでよかったです是非。</p>



留学中の様子

